

平成 27 年 5 月 22 日

東京湾再生官民連携フォーラム
議長 來生 新



東京湾再生官民連携フォーラムとして、新規プロジェクトチームのご提案を受けました。ご提案についての説明をお聞きし、さらにフォーラム内での検討を行いました。その結果、以下のよ
うな名称・ミッション（審議事項・活動内容）で実施していただくことで承認いたします。

(1) PTの名称

東京湾再生のための行動計画の指標の活用 PT（略：指標活用 PT）

(2) 背景

- ・ 東京湾再生官民連携フォーラムは、東京湾再生のための行動計画（第二期）の指標を昨年度、東京湾再生推進会議に提案した。
- ・ 提案された指標は、多様な主体による東京湾再生に資する活動がより一層促進できるように、多様な視点を考慮して 28 項目が設定されている。
- ・ 指標の設定に関しては、現時点において実現可能性が困難な項目であっても、将来的に重要な項目は、行政（東京湾再生推進会議）、民間（企業）、市民・NPO および大学・研究機関の協働や連携など将来的な展開を期待し、指標とされているものもある。また、市民の活動状況等に関する一部の指標については、登録制度等を運用してデータを取得する方法が提案されている。

このような指標を効果的に活用するためには、行政（東京湾再生推進会議）、民間（企業）、市民・NPO および大学・研究機関間の情報の交流を図るプラットフォームが必要である。また、これまで収集されていない市民活動の取り組みを上手にカウントするシステム作りも必要である。さらに、活用の際に指標の測定方法、扱い方および解釈等に関する相談窓口も必要であると考えます。

(3) ミッション

東京湾再生官民連携フォーラムが提案した『指標』が効果的に活用できるようサポートする。このため、前回の PT 活動である『指標検討』のステップから、『指標の効果的活用』のステップとして活用推進活動をおこなう。これにより東京湾再生のための行動計画（第二期）の全体目標が達成されることを支援する。

(4) 具体的な活動内容

- ① 行政（東京湾再生推進会議）とNPO・民間（企業）、大学・研究機関との情報共有のサポート（情報の交流を図るプラットフォーム活用）
- ② 市民活動データの収集のサポート
 - ・登録制度等を運用してデータを取得する方法の試行
 - ・これまで収集されていない市民活動の取り組みを上手にカウントするシステム作りなどの試行
- ③ 指標に関する相談（指標の測定方法、扱い方および解釈等）
- ④ データ整理および評価の行政、市民へのサポート

スケジュール予定

年	実施内容	備考
2015 (H27)	情報交流プラットフォーム作り 市民活動データの収集システムの試行 データの整理・評価サポート	
2016 (H28)	市民活動データの収集システムの改良 データの整理・評価サポート	
2017 (H29)	市民活動データの収集システムの改良 データの整理・評価サポート	2018年度以降は、行動計画第二期、第2回中間評価時で検討

(5) 参加人数

20人程度

- ① 指標PTのメンバーをベースにして、フォーラム会員に公開募集をする。
- ② 東京湾再生推進会議からは、事務局、事務局推薦および参加希望者を考えている。詳細については、東京湾再生推進会議と今後調整する。

(6) フォーラムの運営への協力・寄与

PTは、企画運営委員会の承認のもとで活動をし、企画運営委員会に対して随時活動報告を行っていただきます。同時に、PT長は企画運営委員会に加わり、フォーラムの運営に寄与することとなります。企画運営委員会への参加にあたっては、フォーラムの趣旨・目的が円滑に遂行できるように協力し、寄与する責務が生じることを十分に理解してください。

また、PT活動が、もしフォーラムの趣旨・目的や指示ミッションに违背する方向に向かうときには、フォーラムの一員としての活動を停止し、説明責任を果たすとともに、フォーラム内のPTとしての活動ではなく、それぞれのグループ・団体の独自活動として独立して実施していただくこととなります。

以上